

2021 年度事業報告

自 2021 年 10 月 1 日 至 2022 年 9 月 30 日

一般社団法人 日本野球機構

日本野球機構は、野球が我が国の社会的な公共財であるとの認識の下、これを普及して国民生活の明朗化と文化的教養の向上をはかるとともに、野球事業の推進を通してスポーツの発展に寄与し、我が国の繁栄と国際親善に貢献することを目的としています。下記は、いずれもこの共通の目的を達成する手段であり、2021年度における実績を記したものです。

2021年度に実施した主な事業のトピックス

新型コロナウイルスの影響により、2021年シーズンに引き続き感染予防対策を講じながらのプロ野球開催となりました。デルタ株やオミクロン株による感染拡大下、検査体制の強化、より厳格な接触状況の確認などできる限りの感染拡大防止策を講じることで事業を継続し、2022年シーズンを挙行しています。

また、本年度においては野球伝来150年を迎え、プロアマ記念試合、聖地・名所150選の選定とスタンプラリーの実施、記念ロゴマークの作成、そして特設サイトの立ち上げを行い、アマチュアとプロが一体となり「野球界全体を更に盛り上げる」という共通の目的のもとに事業を実施しました。

《公益目的事業》

- ◇ オンライン方式の導入
「学生野球資格回復研修」、「ベースボール型授業研究会」、「侍スキルアップ講習会」など、これまで実地で行ってきた各種振興事業に、コロナ禍対応としてeラーニング等のオンライン方式を継続実施しました。
- ◇ 野球競技者登録システムの運用開始
日本野球協議会の取り組みとして2016年に開発着手した野球競技者登録システムの活用を2021年5月から開始。学童野球から成人に至るまで、すべての競技者が1つのシステムに登録できる仕組みが整いました。2022年9月末現在、日本高等学校野球連盟、全日本大学野球連盟、全日本女子野球連盟、全日本軟式野球連盟が参加し運用を開始しています。引き続き、日本野球協議会に参加する各野球団体のチーム、選手の登録を推進して参ります。
- ◇ NPB12球団ジュニアトーナメント KONAMI CUP 2021
第17回大会を前年に続き明治神宮球場及び横浜スタジアムで開催。新型コロナウイルスの感染対策に十分配慮し、2年ぶりに有観客で開催することが出来ました。2021年ドラフト会議では、2020年ドラフトに続き過去最多の13名のジュニアチーム出身選手が指名を受け、2005年の第1回大会からNPB入りを果たした選手は累計70名に上りました。
- ◇ NPBちびっ子やきゅう大会ぶんぶんカップ
未就学児向けの野球振興施策として「NPBちびっ子やきゅう大会ぶんぶんカップ」が新たにスタートしました。ルールをシンプルにした「BTボール」という野球あそびで、小さなお子様でも気軽に野球に親しむことができます。各地の自治体、野球団体と連携して実施することで、それぞれの団体がイベント終了後も「BTボール」を使って地域の子どもたちに野球の楽しさ、体を動かすことの楽しさを伝えていくことを目的としています。

《収益事業等》

- ◇ コロナ禍2年目の2021年セ・パ連盟選手権試合完遂の後、セ・パともにクライマックスシリーズを経て、SMBC日本シリーズ2021を計画通り遂行しました。
- ◇ また2022年シーズンはセ・パともに3月25日に予定通り開幕しました。4月から7月にかけて、一部チーム内に感染が発生し、数試合の延期を余儀なくされましたが、日本生命セ・パ交流戦、マイナビオールスターゲームを無事実施し、最終的には1球団当たり公式戦試合数143試合を完遂する予定です。
- ◇ プロ野球ファンへのサービス・訴求力向上と新たな収益源の確保を目的としたeスポーツ事業では、4シーズン目で新たなタイトルとして採用したプロスピAによる「eBASEBALLプロスピAリーグ2021シーズン

(NPB・コナミ共催)」(2021年12月～2022年1月)を開催しました。(※動画視聴回数は1,063万回再生を記録)

《その他目的を達成するために必要な業務》

- ◇ 野球伝来150年事業。プロアマ記念試合、全国47都道府県から野球にまつわる聖地・名所150カ所を選定し、スタンプラリーを実施。記念ロゴマークを作成し、アマの全国大会などでは選手のヘルメットに貼付してプレイ。特設サイト立ち上げなど、プロとアマが一体となり、「野球界全体を更に盛り上げる」という共通目的に沿った事業を実施しました。
- ◇ 暴排活動等においては中央協議会(オンライン)の開催、春季キャンプでの講習のほか、反社チェックシステムの活用徹底、日本選手権シリーズおよびオールスターゲームでのチケット転売調査を実施しました。
- ◇ 職員向けの研修、新型コロナウイルス感染防止拡大のためにWEB研修やeラーニングでの受講環境を継続しました。また、コンプライアンス研修(各部署単位)を実施しました。
- ◇ 危機管理対応の強化策として、安否確認システムの安定運用を実施しました。

実施事業の詳細

《公益目的事業(野球振興事業)》

【野球振興事業の実施】

- ◇ NPB12球団ジュニアトーナメント KONAMI CUP 2021 の開催
12球団がジュニアチーム(小学生)を編成してトーナメント大会を開催
 - ・ 2021年12月28日～30日 明治神宮野球場、横浜スタジアム
- ◇ NPBガールズトーナメント2022 全日本女子学童軟式野球大会開催
都道府県代表の小学生女子チームが参加し、トーナメント方式による全国大会を開催
 - ・ 2022年7月30日～8月5日 石川県内9会場、参加43チーム
- ◇ 教員のための「ベースボール型」授業研究会の開催
小中学校体育での「ベースボール型」授業のサポートを目的として教員向けに開催
総数:全18回 参加教員数1,403名、1,268校(詳細は下記参照)
 - ・ オンライン方式
計6回 参加998名、939校
 - ・ 集合・対面形式
計12回(千葉県松戸市、徳島県鳴門市、新潟県新潟市、山形県川西町、和歌山県和歌山市、福井県福井市、静岡県静岡市、岩手県盛岡市、千葉県浦安市、広島県広島市、兵庫県多可郡、佐賀県佐賀市)参加人数405名、329校
- ◇ 野球指導者講習会(BCC)の開催
(一財)全日本野球協会と共催してアマチュア指導者向けの講習会を開催
 - ・ 2022年1月15日～2月28日 オンデマンド配信講座の実施
 - ・ 2022年1月23日、23日 ライブ配信講座の実施
- ◇ 学生野球資格回復制度の運営
プロ野球出身者が学生野球を指導する際に必要となる資格の得失管理と研修会の実施・運営
 - ・ NPBプロ研修会
2021年12月1日～14日 eラーニング方式で実施
 - ・ 学生野球研修会
2021年12月15日～28日 eラーニング方式で実施
- ◇ 侍ジャパン「野球指導者スキルアップ講習会」のオンライン開催
日本代表経験のある元プロ野球選手及び監督、コーチらによる小学生指導者向けの講習会を開催

- ・ eラーニング : I 2021年12月1日(水)~12月7日(火)
II 2021年12月8日(水)~12月14日(火)

- ◇ 未就学児等低年齢児童に対する施策
新規事業として、低年齢児童向けに野球のルールを簡素化した「BT ボール」による「NPB ちびっこ野球大会 ぶんぶんカップ」を今年度から開催
 - ・ 4回(新潟県新潟市、神奈川県川崎市、岩手県盛岡市、神奈川県横浜市)、参加 301名
- ◇ NPB 及び 12 球団と大学、高校による共同普及振興活動の申請・承認
 - ・ 7回(千葉ロッテ-千葉県高野連、ソフトバンク-鹿屋体育大学、東北楽天-宮城県高野連 2回、埼玉西武-埼玉県野球協議会、NPB-富士大学、北海道日本ハム-北海道高野連)
- ◇ 初心者向け審判講習会
今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、実施見送り
- ◇ 野球障害予防健診
肩肘の障害予防を目的とした健診を実施
 - ・ ジュニアトーナメント出場選手対象:2021年10月~11月
 - ・ ガールズトーナメント出場選手対象:2022年6月~8月

【研究・調査】

- ◇ 試合時間短縮化実現に向けた取り組み(ゲームオペレーション委員会)
 - ・ 試合時間計測・分析
投球間隔や打席入り時間の伸延などの要因により、平均試合時間が前年比3分増となる。
 - ・ ゲームオペレーション・ブックの発行
2021年版を作成し、12球団および審判部他へ配布。試合時間短縮化に向けた意識付け等啓蒙活動を継続実施。
 - ・ スピードアップ表彰
スピードアップに貢献したチーム、投手、打者をセ・パ両リーグからそれぞれ1名を選出して、「スピードアップ賞」を贈呈。
 - ・ 審判員技術向上アプリを活用し、審判員個々のストライクゾーンの特徴などを把握した上で判定技術の向上に努めた。全体のストライクゾーン均一化を並びにスムーズな試合進行に寄与している。
- ◇ 日本野球協議会「普及振興活動状況調査2022」
NPB12球団及びプロ野球関係団体、(一財)全日本野球協会加盟の全アマ団体を対象に野球に関する普及・振興事業の実態調査を実施。
- ◇ 中期経営計画小委員会における指針である野球振興策の方針を補完する及び検証するためのデータ・情報獲得を目的に外部業者によるアンケート調査「野球振興施策の検討に関する調査 Phase2」を実施。
- ◇ DMP(データマネジメントプラットフォーム)を使い NPB 公式サイト来訪者の属性データを収集・分析。既存来訪者の満足度向上や新規来訪者獲得のために利活用。振興や事業サポート用途にも活用の予定。
- ◇ NPB 新公認バット規定
 - ・ 新 NPB 公認バット登録運用による運用開始。
 - ・ NPB 公認バット登録各社に対し、音によるバット品質の確認機械(E テスター)を提供し、木製バットの品質向上を推進

【復興支援事業】

- ◇ 福島県、岩手県、宮城県の全ての高校、中学、小学校の野球チームに対しボールケースを寄贈し予定通り震災から10年間継続してきた復興作業部会の活動を終了した。

【助成事業】

- ◇ 日本野球機構補助金規程に則り、野球または野球を含むスポーツの振興またはその援助を目的とする公益的団体を対象に寄付、助成事業の実施と対象団体の実施事業の課題整理作業を開始。

- ・ 公益財団法人野球殿堂博物館
博物館の新たな集客策のため「野球の学校」と銘打った新規イベントをNPBと共同開催
- ・ 公益社団法人全国野球振興会(プロ野球OBクラブ)
- ・ 公益財団法人日本野球連盟(JABA)
- ・ NPO法人アオダモ資源育成の会
- ・ 一般社団法人全日本女子野球連盟
2026年のアジア競技大会への女子野球エキジビション参加を目的として、支援強化のため助成金額を増額し支援拡大

【アマチュア球界との交流】

- ◇ 日本野球協議会の運営
日本野球機構と(一財)全日本野球協会で構成される日本野球協議会の各種委員会等において協議
 - ・ 幹事会
 - ・ 各委員会(普及・振興、侍ジャパン強化、マーケティング、オペレーション、国際)
 - ・ その他各種部会
- ◇ プロ野球選手によるシンポジウム「夢の向こうに」の開催
(公財)日本高等学校野球連盟、(一社)日本プロ野球選手会と共同で現役選手による高校球児への野球指導交流事業を開催
 - ・ 2021年12月11日 島根・出雲ドーム
- ◇ 野球競技者登録システムの開発
 - ・ 野球界全体での統一した選手登録システムとして「野球競技者登録システム」を開発運用

【国際交流】

- ◇ WBSC(世界野球ソフトボール連盟)への協力活動
- ◇ 韓国プロ野球リーグ(KBO)と新型コロナウイルス対策について意見交換を実施
- ◇ 台湾プロ野球リーグ(CPBL)と新型コロナウイルス対策について意見交換を実施
- ◇ CPBL 審判技術指導員として、NPB審判員 OB を台湾に派遣
- ◇ 野球指導教材外国語版を使用し、国際協力機構(JICA)と連携を図り、海外での野球普及活動を支援

【新人選手・プロ野球選手OBに向けた取り組み】

- ◇ 新人選手選抜会議(ドラフト会議)、育成選手ドラフト
 - ・ 2021年10月11日(月)に球団別の個室形式にて実施
- ◇ 新人選手研修会
 - ・ 2022年1月12日(水)に新型コロナウイルス感染予防対策のためオンライン会議システムにより実施
- ◇ プロ野球合同トライアウト
 - ・ 2021年12月8日(火)にメットライフドームにてプロ野球合同トライアウトを開催、33選手が参加した。
- ◇ セカンドキャリアサポート事業
 - ・ みやざきフェニックス・リーグ参加の現役選手への意識調査を実施
 - ・ 退団者の動向調査を実施
 - ・ セカンドキャリアサポートマガジン「NEW BALL」の編集および発行
- ◇ 支配下10年以上養老補助制度事業における現況調査及び支給の実施
- ◇ 退団選手一時金制度における支給の実施
- ◇ 監督、コーチ、選手の国民年金基金への加入に関して、12球団と協力して加入促進活動の実施と奨励金支給に関するオールスターゲーム資金の分配と球団請求業務の実施

【プロ野球界内への取り組み】

- ◇ NPB 全体の収益構造最適化
 - ・ 社員総会(オーナー会議)の指示を受け、(株)NPBE の設立趣意を踏まえた NPB 全体の合理的な収益構造の見直しを、中期経営計画小委員会にて検討。
- ◇ 審判員の育成、研修
 - ・ NPBアンパイア・スクールを開催はコロナ禍により開催見送り
 - ・ シーズン反省会の実施
- ◇ NPB選手関係委員会と選手会との事務折衝
- ◇ 2022年公認野球規則の編集および発行と配布
- ◇ 新型コロナウイルス対策連絡会議の開催
 - ・ 隔週毎に NPB と Jリーグが共同で行う「新型コロナウイルス対策連絡会議」を開催
 - ・ 新型コロナウイルス対策の専門家チーム(専門医師 9 名)と契約、北海道から九州までの各地域での緊急時の相談対応ができるよう対策を講じた
 - ・ NPB 新型コロナウイルス感染予防ガイドラインを策定
 - ・ NPB 各球団の PCR 検査等によるスクリーニング検査を実施
 - ・ 新型コロナウイルス感染の場合の緊急時対応窓口を NPB 事務局内に設置
 - ・ 新型コロナウイルス対策連絡会議において感染者発生時の調査を継続実施
- ◇ スポーツ庁補助金取り纏め、申請対応

【NPB 医事委員会活動】

- ◇ 脳振とうガイドラインの策定と運用
 - ・ SCAT2から SCAT5への移行対応
- ◇ 審判員の脳震とうガイドライン策定開始
- ◇ アンチ・ドーピング講習会の実施
 - ・ オンデマンドによる VTR 映像講習会開催
 - ・ Zoom による全球団トレーナー医科学関係者と NPB 医事委員会の意見交換会開催

《収益事業等(野球奨励促進事業)》

【プロ野球公式戦の開催とそれに伴う業務】

- ◇ 2022 年シーズン試合日程の編成、発表
- ◇ 開幕日程の作成、発表(NPB全体日程の再調整)
- ◇ NPBマザーズ・デー開催
- ◇ セントラル、パシフィック野球連盟年度連盟選手権試合運営管理
 - ・ 公式戦における試合日程、選手権試合(CS含む)管理、順位決定、選手登録手続
- ◇ イースタン、ウエスタン・リーグ年度選手権試合運営管理
 - ・ 公式戦における試合日程管理、選手権試合(CS含む)管理、順位決定、選手登録手続
- ◇ 選手登録の管理運営
 - ・ 選手登録・異動手続、FA日数管理
- ◇ 非公式試合(教育リーグを含む)管理
 - ・ 日程発表・管理 審判派遣、審判経費処理
- ◇ みやざきフェニックス・リーグ運営管理
 - ・ 試合日程作成・発表 宮崎市との運営連携 参加球団との連絡
- ◇ NPB AWARDS 2021 の開催、パートナーパーティーは中止
- ◇ 記録達成時表彰、記者投票による表彰の管理
- ◇ 各リーグアグリーメントの発行
- ◇ イースタン・リーグ観戦ガイドの発行

- ◇ グリーンブック 2022(セントラル野球連盟ガイドブック)の発行
- ◇ ブルーブック 2022(パシフィック野球連盟ガイドブック)の発行
- ◇ 両連盟選手権試合へのNPB契約審判員、記録員の派遣業務
(日本選手権シリーズ、ファーム日本選手権およびフレッシュオールスターゲームは当法人の主催試合)
- ◇ リプレイ検証制度「リクエスト」の運用
- ◇ 審判員の技術向上
 - ・ 審判員技術向上アプリを活用し、ストライクゾーンの精度、技術向上に努めた。試合結果、リプレイ検証を振り返るアプリ(POG)も導入・活用し、審判員・記録員が自身の判定について日々の研鑽を実施。2021年からファーム映像の機能も追加。

【試合の主催、開催支援、運営】

- ◇ ファーム日本選手権の開催
 - ・ 2021年10月9日(土) 宮崎県・ひなたサンマリンスタージアム宮崎にて開催
- ◇ 日本選手権シリーズの開催
 - ・ 2021年11月20日(土)から京セラドーム大阪、東京ドーム、ほっともっとフィールド神戸にて開催
 - ・ 三井住友銀行が冠協賛社となり、「SMBC日本シリーズ 2021」として開催
- ◇ フレッシュオールスターゲームの開催
 - ・ 2022年7月23日(土) 長崎市ビッグ N スタジアムにて開催。
- ◇ オールスターゲーム(12球団共催)の運営
「マイナビオールスターゲーム 2022」として開催
 - ・ 2022年7月26日(火) 第1戦：福岡 PayPayドーム
 - ・ 2022年7月27日(水) 第2戦：松山市 坊っちゃんスタジアム
- ◇ 野球伝来150年関連事業の開催
「野球伝来150年プロアマ記念試合 U-23 NPB選抜 vs 大学・社会人選抜」として開催
 - ・ 2022年8月1日(月) 明治神宮野球場にて開催
- ◇ 二次映像等の使用許諾管理・NPB管理試合における映像二次使用管理業務
- ◇ グッズの制作、販売管理
 - ・ NPBが運営する大会のオリジナルグッズ制作・販売
 - ・ NPBショップ運営管理
- ◇ NPBマークの管理および球団およびメーカーへの手配・販売
- ◇ NPB CIC(写真素材管理サービス)の運営管理
 - ・ 現時点ではプロ野球10球団がNPB CICを利用。2022シーズンより新画面でのサービス提供を実施。
 - ・ NPB・博物館保管の過去の日本S、オールスター映像の電子化を実施

【国際大会の運営、参加】

- ◇ 日本代表チームを編成、派遣

【試合以外の収益確保】

- ◇ 新たな収益源となるビジネスモデルの立ち上げの考察
- ◇ 12球団との会議の開催、運営、案件とりまとめ
- ◇ 12球団プロパティ、選手肖像の管理業務代行
- ◇ プロ野球データ活用プラットフォーム NPB BIP(Baseball Data Innovation Platform)の運用と利用社の促進
 - ・ NPB BIPバージョン3.0をリリースし、配信データ項目(公示・予告先発情報)を拡張

- ◇ eスポーツ事業「eBASEBALL プロスピ Aリーグ 2021(NPB・コナミ社共催)」の開催と運営
 - ・ 2021年12月4日(土)～2022年1月9日(日)eBASABALL eペナントレース開催
 - ・ 2022年1月15日(土)、16日(日)コカ・コーラ eクライマックスシリーズ開催
 - ・ 2022年1月22日(土)SMBC e日本シリーズ開催
- ◇ eスポーツ事業「eBASEBALL プロスピ Aリーグ 2022 シーズン(NPB・コナミ社共催)」の開催発表と運営
 - ・ 2022年6月27日(月) 開催概要、継続契約選手発表
 - ・ 2022年7月25日(月)球団ファン応援感謝企画詳細、12球団スピリーグ監督の発表
 - ・ 2022年8月5日(金)～8月12日(金) オンライン予選
 - ・ 2022年8月27日(土)～9月4日(日) オンライン面接

【記録データの管理】

- ◇ 公式記録の作成、管理、運用
 - ・ 非公式戦、公式戦への記録員の派遣
 - ・ 公式戦、日本シリーズ及びオールスターに加え二軍公式戦のスコアカードの電子化作業
 - ・ オフィシャルベースボールガイド2022、ブルーブック、グリーンブック等各種出版物の作成
 - ・ 公式記録をベースボール・インフォメーション・システム(BIS)検索サービスで提供、速報記録等のメディア配信
 - ・ 一リーグ(1936年～1949年)のマイクロデータ化に向けて1949年以前の試合入力作業
 - ・ 公式ホームページ記録サイトの拡充および情報発信

《その他目的を達成するために必要な業務》

【広報・PR活動】

- ◇ NPBイベント広報対応、取材・会見対応、プレスリリース配信
- ◇ プロ野球取材ID発行・管理
- ◇ オフィシャルベースボールガイド2022の発行
- ◇ 公式ホームページ、SNS等オウンドメディアでの情報発信
- ◇ 公式フォトの管理
- ◇ 公式プログラムの監修(オールスターゲーム、日本選手権シリーズ)
- ◇ NPBプロモーション映像制作(球場ビジョン用)
 - ・ 開幕前に「野球場へよう」「ドンマイMYフレンド」の映像制作。12球団フランチャイズ球場で放映
- ◇ NPBスローガンキャンペーン(映像、ポスター制作)
 - ・ 開幕前に映像、ポスター制作。12球団フランチャイズ球場、地方球場、マスコミ等で放映・掲出
- ◇ NPB手帳制作
- ◇ 12球団ファンブックへの広告掲載

【検査および調査】

- ◇ 公式戦使用球(統一球)検査
- ◇ 折損バットの調査

【暴排活動等】

- ◇ プロ野球暴力団等排除対策協議会の中央協議会はオンライン会議にて開催。
- ◇ 春季キャンプ中に全選手を対象に有害行為防止講習は中止
- ◇ みやざきフェニックス・リーグでの暴排講習を実施(DVD配布により各球団対応)
- ◇ 反社チェックシステム活用徹底
- ◇ 日本選手権シリーズおよびオールスターゲームにおけるチケット転売調査実施

【会員間の連絡、親善】

- ◇ 12 球団役職員名簿の制作、配布

【NPB組織強化】

- ◇ コロナ禍における適正な労務管理、業務環境・体制整備の継続
- ◇ 職員向け各種研修(若手社員研修、コンプライアンス研修、情報セキュリティ研修、WEB 研修・eラーニングの提供)
- ◇ 商標権、その他知的財産権等の登録・管理
- ◇ 内部監査の徹底
- ◇ 危機管理の体制改善・機能強化

【地球温暖化防止活動「グリーンベースボールプロジェクト」への取り組み】

- ◇ 公式戦などで出場者がグリーンリストバンド着用することによる活動PR
- ◇ グリーンリストバンドを販売し、売り上げを植林活動へ寄付

【アンチ・ドーピング活動】

- ◇ アンチ・ドーピング選手手帳の制作・配布を通じた啓発活動
- ◇ ドーピング検査の実施
- ◇ サプリメント等問い合わせ対応
- ◇ TUE 申請対応

以上